

「糖尿病性腎症におけるケモカインの関与の検討」のお知らせとお願い

医療技術のめざましい発展にもかかわらず、糖尿病性腎症から末期腎不全に陥り、透析や腎移植を必要とする患者さんの数は、全世界的に増えつづけ、医療経済的にも重大な問題となってきました。このような状況のもと、糖尿病性腎症の発症・進展機序を明らかにすることにより、より良い治療法を開発することが強く求められています。近年、糖尿病性腎症においても、一般の糸球体腎炎と同様、腎臓局所での炎症が腎症の進展に重要な働きをしていることが注目されてきました。各種臓器の炎症を誘導する因子としてケモカインの関与が知られています。そこで、当科では、腎生検の結果、糖尿病性腎症と診断された患者さんの腎組織を用いた研究を計画しております。具体的には、診断に用いた腎生検組織の残りの組織を用いて、ケモカインの蛋白質・遺伝子レベルでの発現や、それに伴う炎症の指標として、マクロファージなどの、炎症性細胞の浸潤の程度を解析します。

本研究は、今後、研究のために患者さんから検体を採取したり投薬をしたりすることはなく、これまでの入院治療での既存試料等のみを用いる後方視的研究です。

患者さんの臨床データはID等の個人情報とは無関係な番号付与による匿名化によって管理され、その他通常の診療と同様にプライバシーが保護されます。また、平成15年1月から平成24年12月までに、防衛医科大学校病院で腎生検を施行され糖尿病性腎症と診断された方、もしくは平成3年4月から平成5年4月の間に防衛医大病院泌尿器科で腎臓摘出術を受けられた方で、ご自分の臨床データや採取組織を研究に使わないで欲しい、というご希望があれば、下記の連絡先までご連絡をいただけますようお願いいたします。

なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、防衛医科大学校病院腎臓内分泌内科における診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益をこうむることはありません。

連絡先：埼玉県所沢市並木3-2
防衛医科大学校 腎臓内分泌内科
電話：04-2995-1511（内線：2971）
研究担当医師：尾田高志